

資料 1

日時 平成29年9月19日

午後7時～

場所 速川公民館

H 2 9

速 川 地 区



市 長 の ま ち づ く り

ふ れ あ い ト ー ク

昨年度のふれあいトークの 対応状況について

■ 昨年度のふれあいトークでの対応状況について

3

29まちづくり
ふれあいトーク

対応済

100-臼ヶ峰の修繕
103-臼ヶ峰の手すり改修
113-市道の補修（早借）
114-排水路の復旧工事
120-床鍋三山地内の草刈り
431-市のバス利用
432-里親制度

29年度内

112-防火水槽の整備
119-市道の補修（日名田）

可能

30年度以降

未定

115-新文化施設整備
118-3校の将来像
423,424,426-新文化施設整備
429-避難所の備蓄品配置
436-速川小学校の学級状況

101-加越能バスの便数減、102-保育時間、104-大型事業推進時と議会
111-舟山公園の継続支援、116-陸上競技場建設、117-予算の使い方
121-ふるさと納税返礼品還元率アップ、122-県道氷見志雄線の安全対策
425-若い人の農業参画推進、430-避難対象地区の基準、428-監査請求
433-ケーブルネット停波、434-イノシシ対策、435-ハクビシン対策

参考意見

市政の概要

「住みたい街」・「働きたい街」・「育てたい街」の
3つの氷見元気プロジェクト

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～

II 働きたい街
～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

III 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～

I 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ①

拡充

グランドデザイン調査検討事業

予算額: 954.2万円



JR氷見駅からひみ番屋街まで、市街地全体のグランドデザインを描き、観光客誘致、防災、文化情報発信など、4つの公共空地の利活用方針の策定及び漁業文化交流センターの活用について検討します。

I 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ②

新規

都市計画再構築事業 (都市計画マスタープランの見直し等)

予算額: 1,341.6万円

既存の都市計画マスタープラン(平成17年作成)を見直し、まちづくりの目標や数値指標を達成するために必要な事業を記載した都市再生整備計画を作成します。

※都市計画マスタープランとは…

地域の特性を踏まえたまちの将来像やまちづくりの方針等を具体的に示し、無秩序な開発の抑制や適切な土地利用の誘導など計画的な都市の形成を図るために定めるものです。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ③

新規

地域活力施設整備支援事業

予算額: 1,000万円



自治会が自主的、主体的に実施する小規模な道路・水路や公園などの社会資本の整備等についての必要な経費を補助します。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ④

新規

がんセンター整備予定地での埋蔵文化財
試掘調査費【病院事業会計】

予算額: 360万円



金沢医科大学氷見市民病院でのPET-CT導入によるがんセンター整備に向け、埋蔵文化財試掘調査を行います。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ⑤

[その他主な事業]

※金額は予算額

新規

ぶり奨学プログラム事業 **175.1万円**
(ぶり奨学交流事業の開催)

拡充

防災対策事業 **2,227.1万円**
(防災ラジオの整備、津波ハザードマップの作成等)

拡充

鳥獣被害防止対策事業 **1,411.7万円**
(イノシシによる掘り起こし被害対策の調査研究等)

拡充

包括的支援事業【介護保険】 **260.6万円**
(生活支援コーディネーターの設置)

II 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ①

新規

世界農業遺産調査検討事業

予算額:572.3万円

400年の歴史を誇る定置網や、国指定天然記念物のイタセンバラと十二町潟のオニバスなど希少な動植物と共生する農業資産等について、日本農業遺産及び世界農業遺産の認定を受けるための準備に必要な調査・検討を行います。

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ②

拡充

魚食文化リーディング事業

予算額: 2,769.1万円



市内の食関連事業者(魚食だけでなく食関連全般に対象を拡大)の売上向上を目的として行う新商品の開発実験や販路拡大等を実施しています。

(国の地方創生推進交付金事業の活用)

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ③

新規

漁業文化交流センター管理運営事業

(ひみ漁業交流館魚々座を改称)

予算額: 1,115万円



氷見の伝統ある漁村文化を伝承・展示し、世界農業遺産の認定に向けた情報発信拠点として、氷見市漁業文化交流センターを平成29年7月14日から開館しています。

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ④

[その他主な事業]

※金額は予算額

拡充

まんがのまちづくり推進事業 283.1万円
(潮風ギャラリー開館10周年記念イベントの開催)

拡充

観光広報強化事業 738.8万円
(テレビ番組や雑誌などのマスメディアでの発信強化)

継続

商店街賑わい創出事業 200.1万円
(商店街の賑わい創出に取り組む団体を支援や賑わいを支援するタウンマネジャーの招へい)

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ①

第2子保育料無料化関連予算

拡充

民間保育所等施設給付事業
予算額:2,500.7万円

多子世帯子育て支援事業
予算額:345.6万円



保育所や幼稚園、認定こども園に入所する1歳以上の第2子の保育料を7月から無料化しています。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ②

第2子保育料無料化関連予算

新規

家庭で子育て応援金給付事業

予算額:1,260万円



満1歳から満3歳になるまでの間、第2子以降の児童を保育所や認定こども園に預けずに、家庭で保育される世帯に対し、対象児童1人につき月額2万円の「家庭で子育て応援金」を支給します。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ③

拡充

放課後児童対策事業

予算額:186.8万円



学童保育の充実を図るため、氷見児童育成クラブ(いきいき元気館)における学童保育時間を22時まで延長しています。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ④

拡充

小中学校ICT環境整備事業

予算額:3,050.3万円



小学校・中学校の学習環境向上を図るため、全小中学校普通教室及び特別支援学級への電子黒板整備、及び全小中学校それぞれ1クラス分のタブレットパソコンを整備します。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ⑤

[その他主な事業]

※金額は予算額

新規

子どもの未来応援事業 413.5万円

(子どもやその家庭の実態調査及び子ども・子育て支援事業計画の改定)

新規

子どもほっとサロン事業 60万円

(「こども食堂」3か所への助成)

拡充

子育て世代包括支援センター(日本版ネウボラ)準備事業 286万円

新規

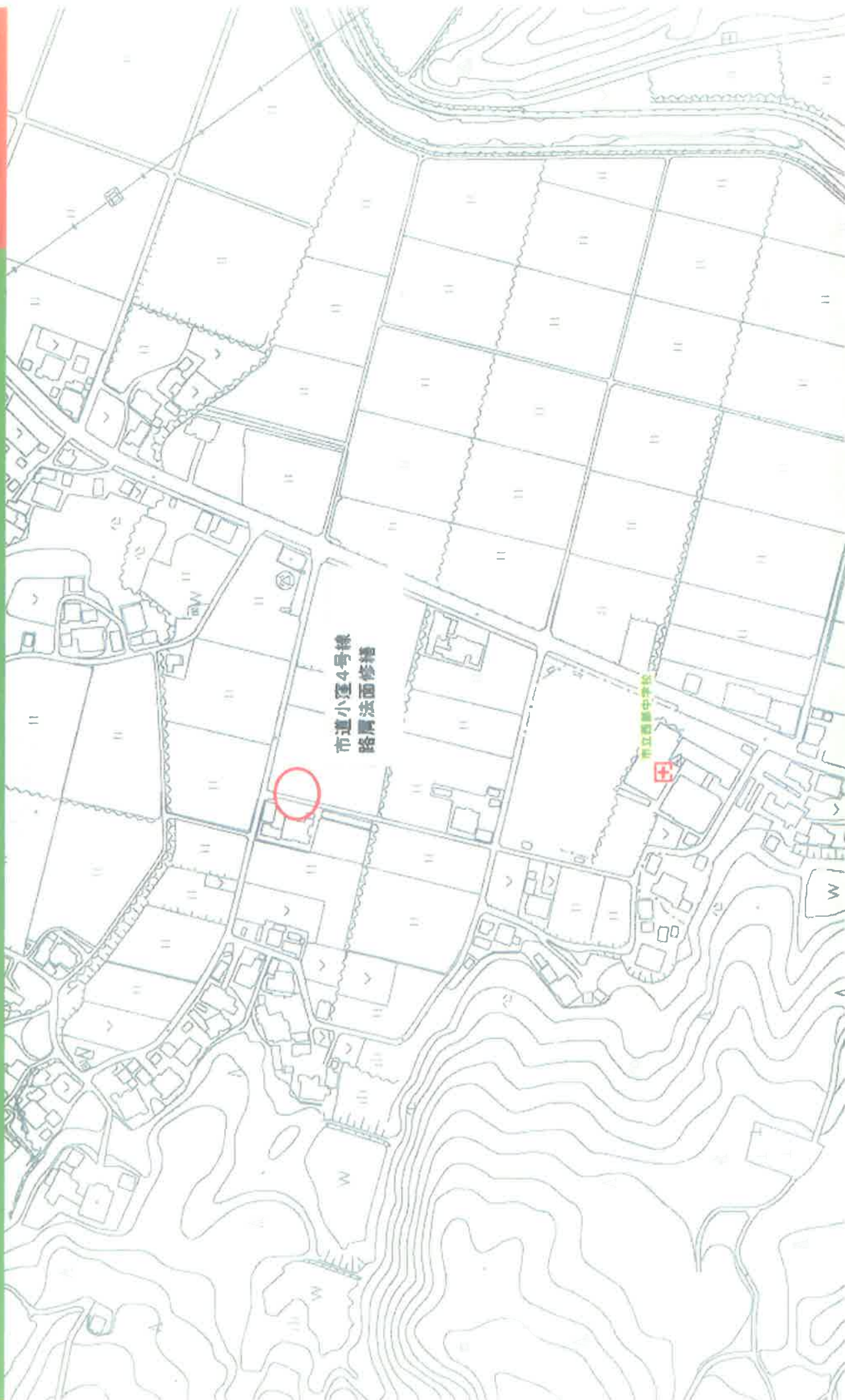
都市公園活性化事業 917.8万円

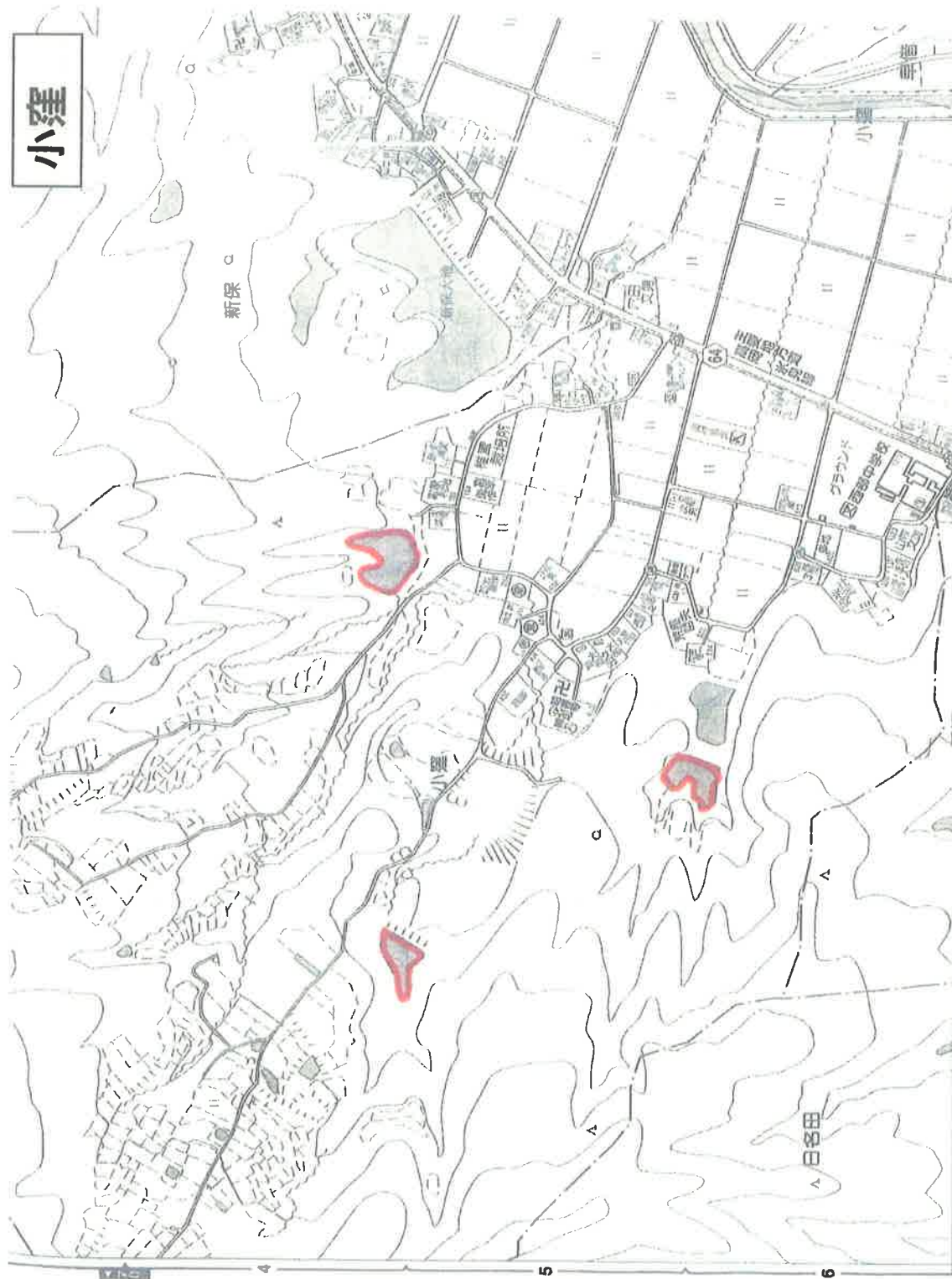
(氷見運動公園の長寿命化、再整備に向けた基本設計)

速川地区の事業概要

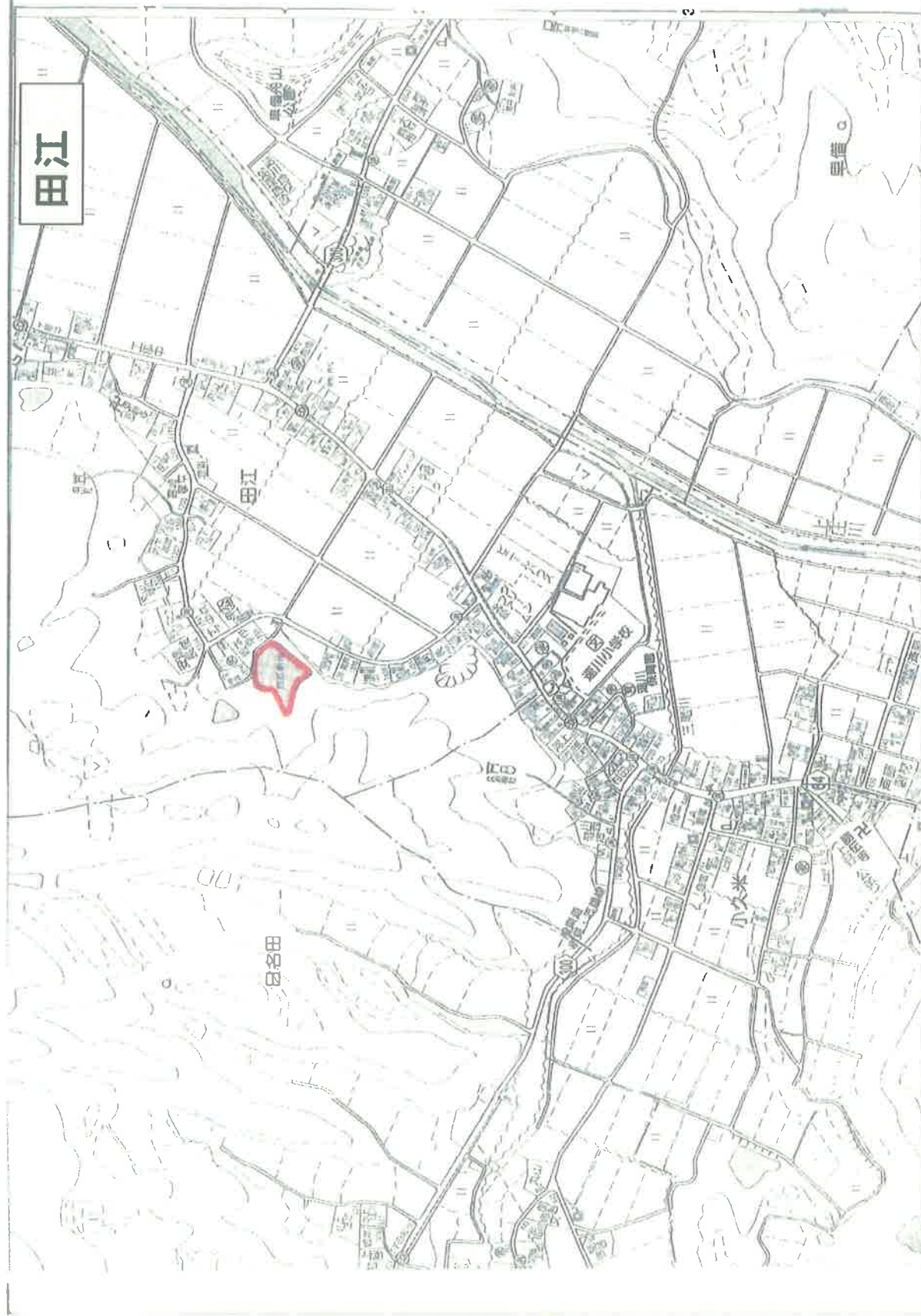
■ 地区の工事箇所

実施 年度	工 事 名	工事 (業務) 場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または 予算額(円)
H29	市道小窪4号線路肩法面修繕	小窪	H29.9月下旬	H29.10.20	243,000
H29	ため池ハザードマップ作成委託 (新池、池の谷内池、向山池、新池(田江)、 坊ヶ谷内池、唐古池)	小窪 外3	H29.10月下旬	H30.1月下旬	1,200,000
H29	市道早借上田線放流渠修繕	早借	H29.7.11	H29.8.25	388,800
H29	防火水槽新設工事	早借	H30.1月予定	H30.2月予定	9,400,000
H29	市道橋梁点検(その6、その7)業務委託	早借・ 小久米	H29.7.26	H29.11.10	2,080,000
H29	市道小久米床鍋線側溝補修工事	小久米	H29.5.17	H29.7.26	1,134,000
H29	ため池耐震性調査業務(その13)委託	小久米	H29.6.20	H30.1.31	3,238,920
H29	市道三尾見内線道路改良工事	床鍋	H30.1月	H30.3月以降	12,000,000
H29	市道三尾見内線アスカーブ修繕	床鍋	H29.9月下旬	H29.10.20	113,400
H29	市道三尾見内線側溝修繕	床鍋	H29.9月下旬	H29.10.20	129,600

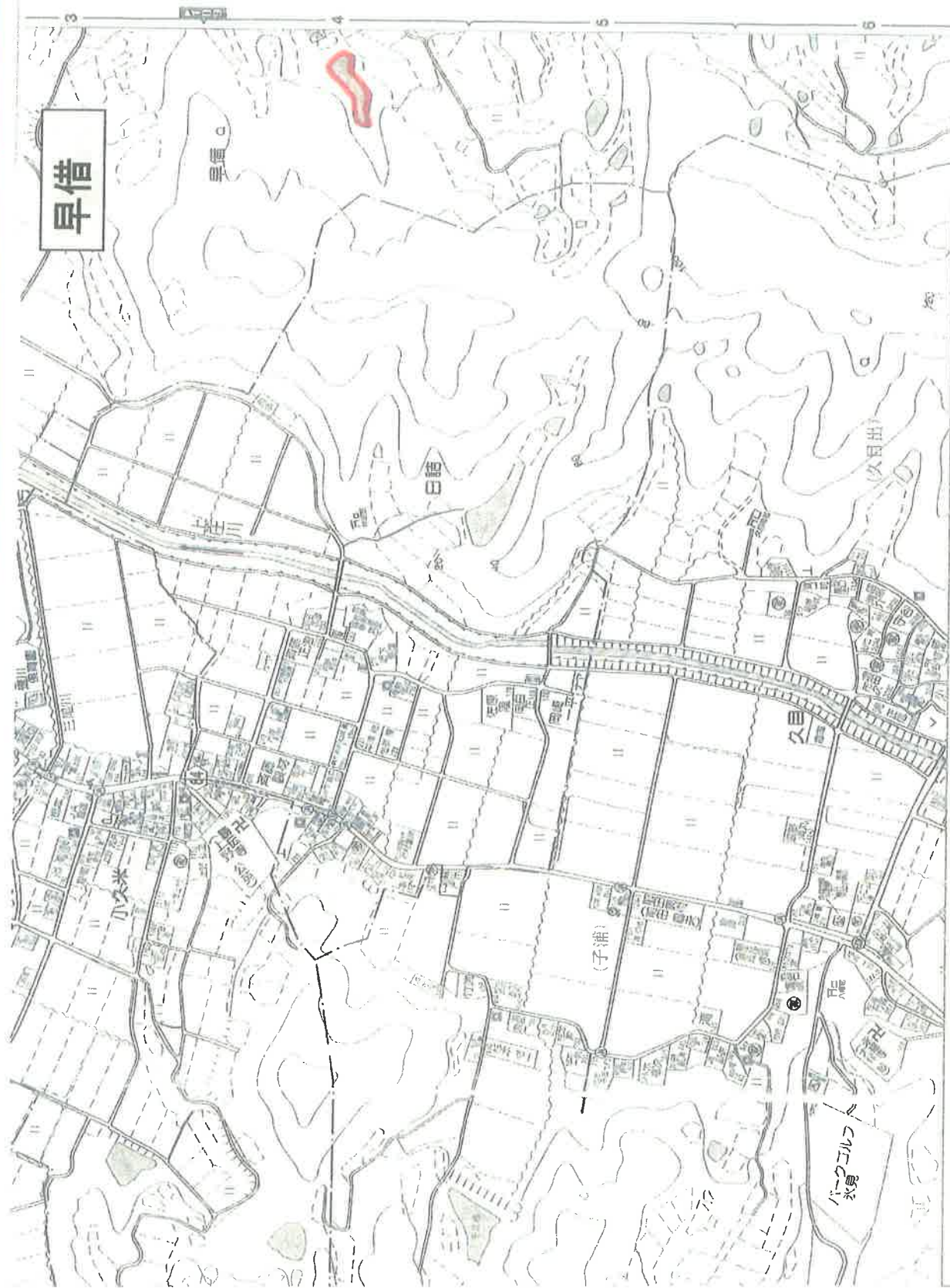




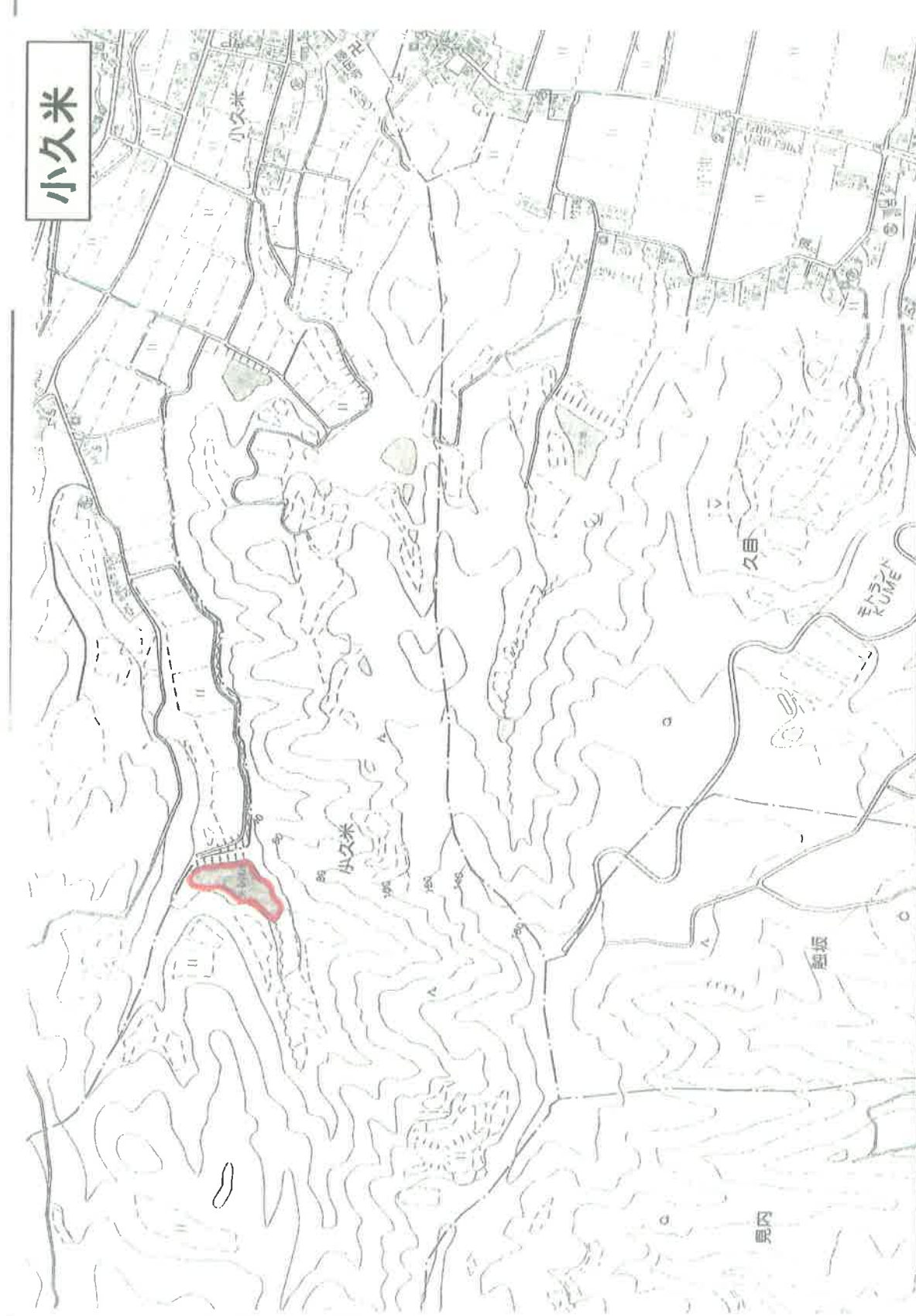
ため池ハザードマップ作成委託（新池、池の谷内池、向山池）



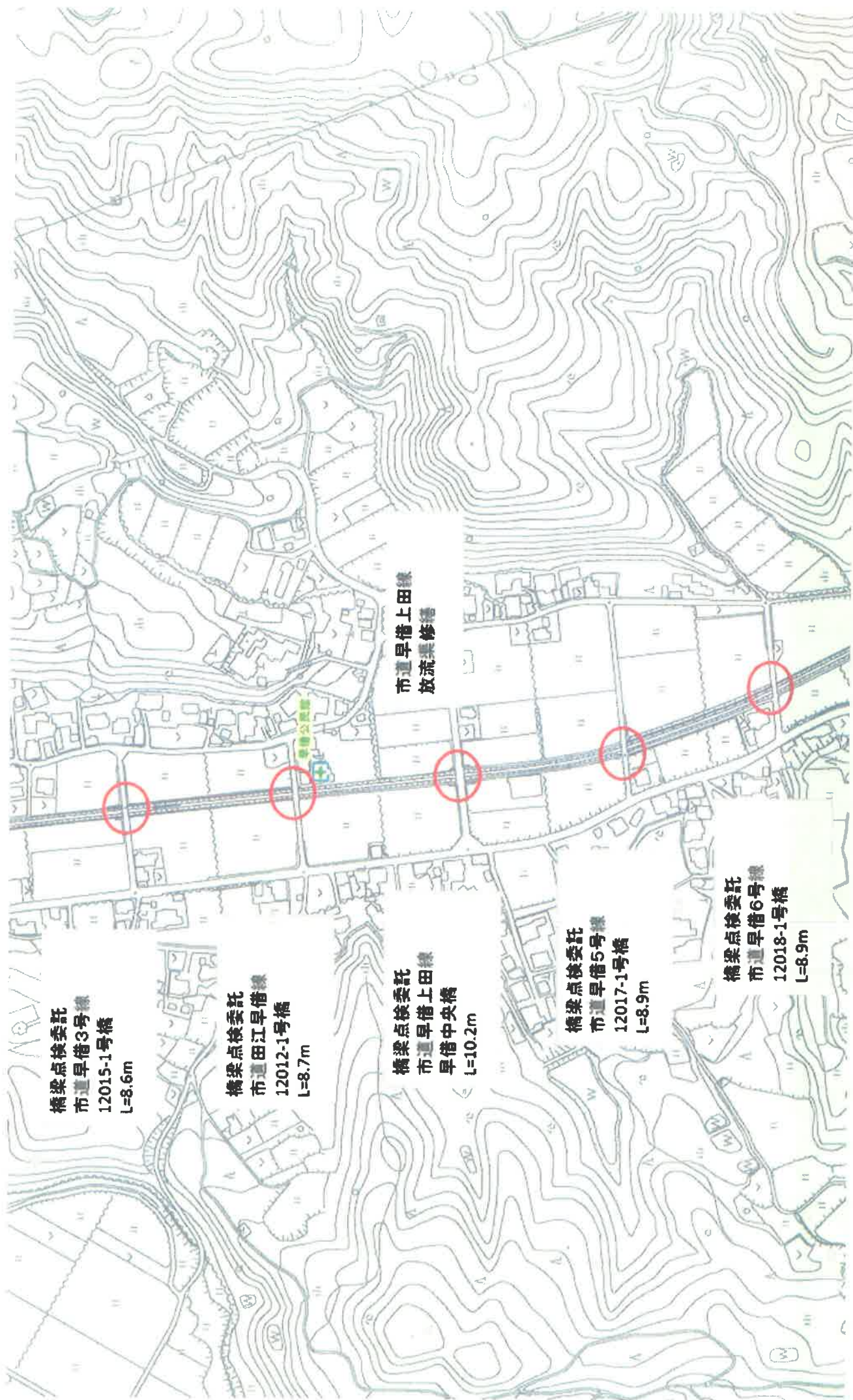
ため池ハザードマップ作成委託（新池）

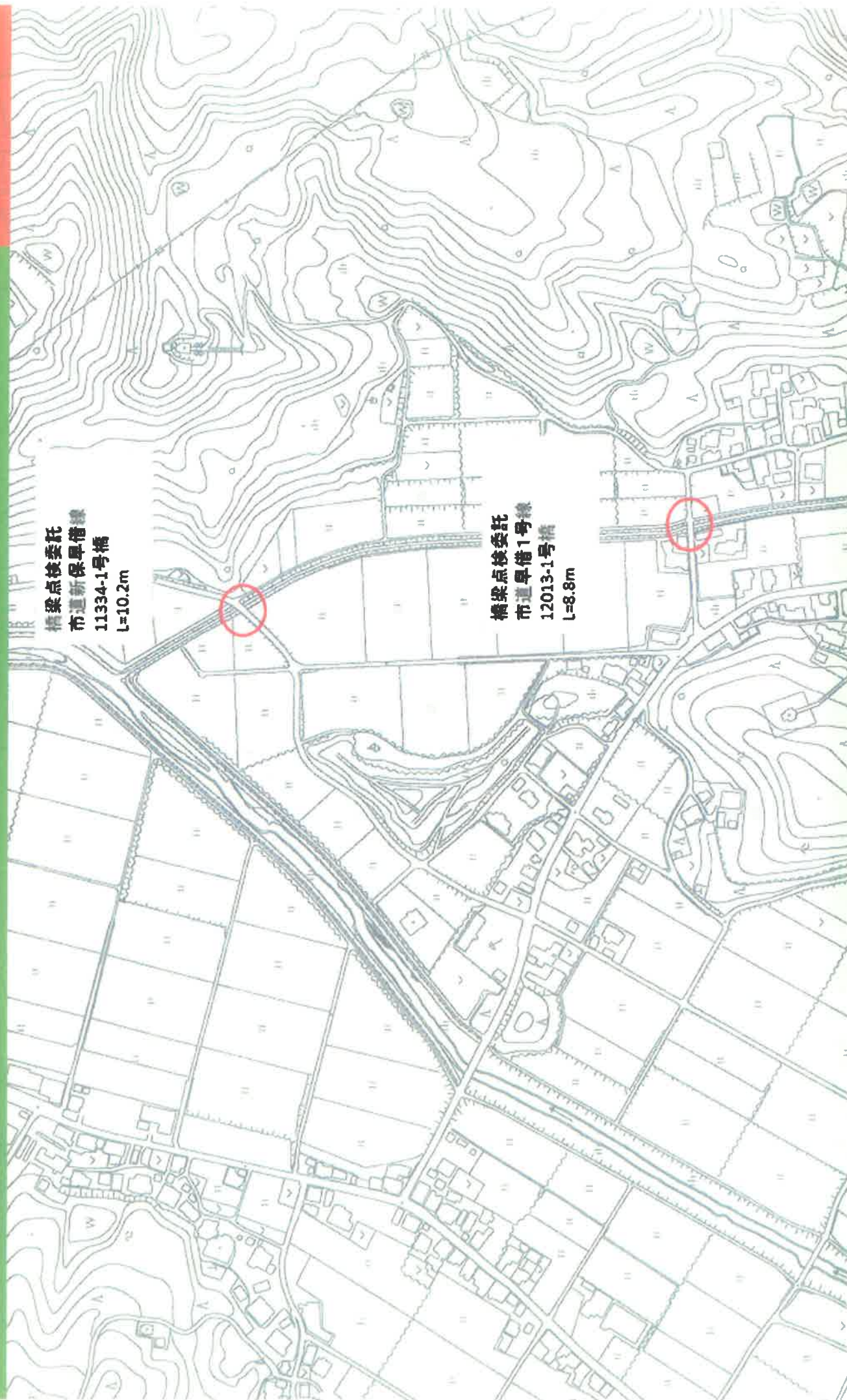


ため池ハザードマップ作成委託（坊ヶ谷内池）

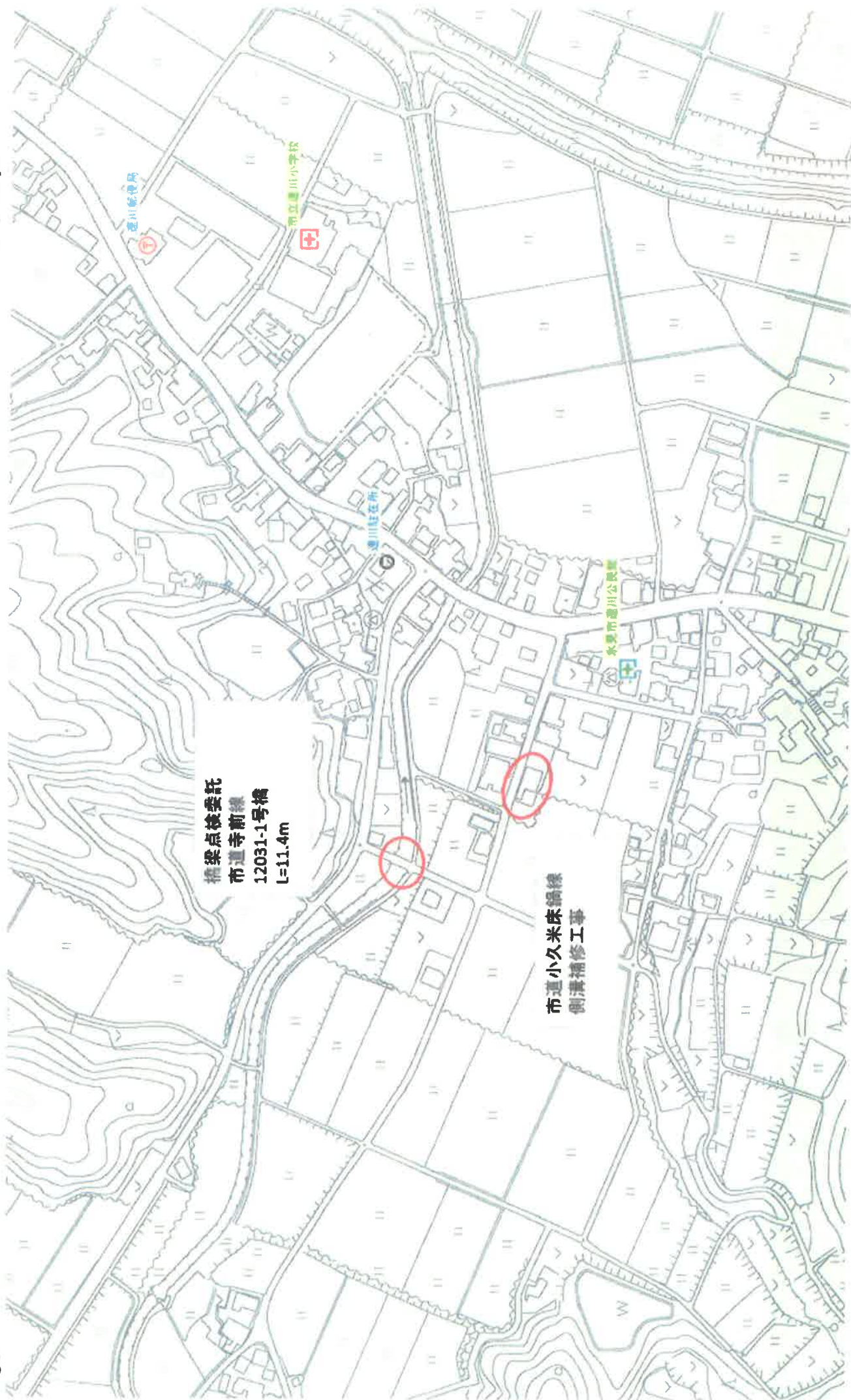


ため池ハザードマップ作成委託(唐古池)

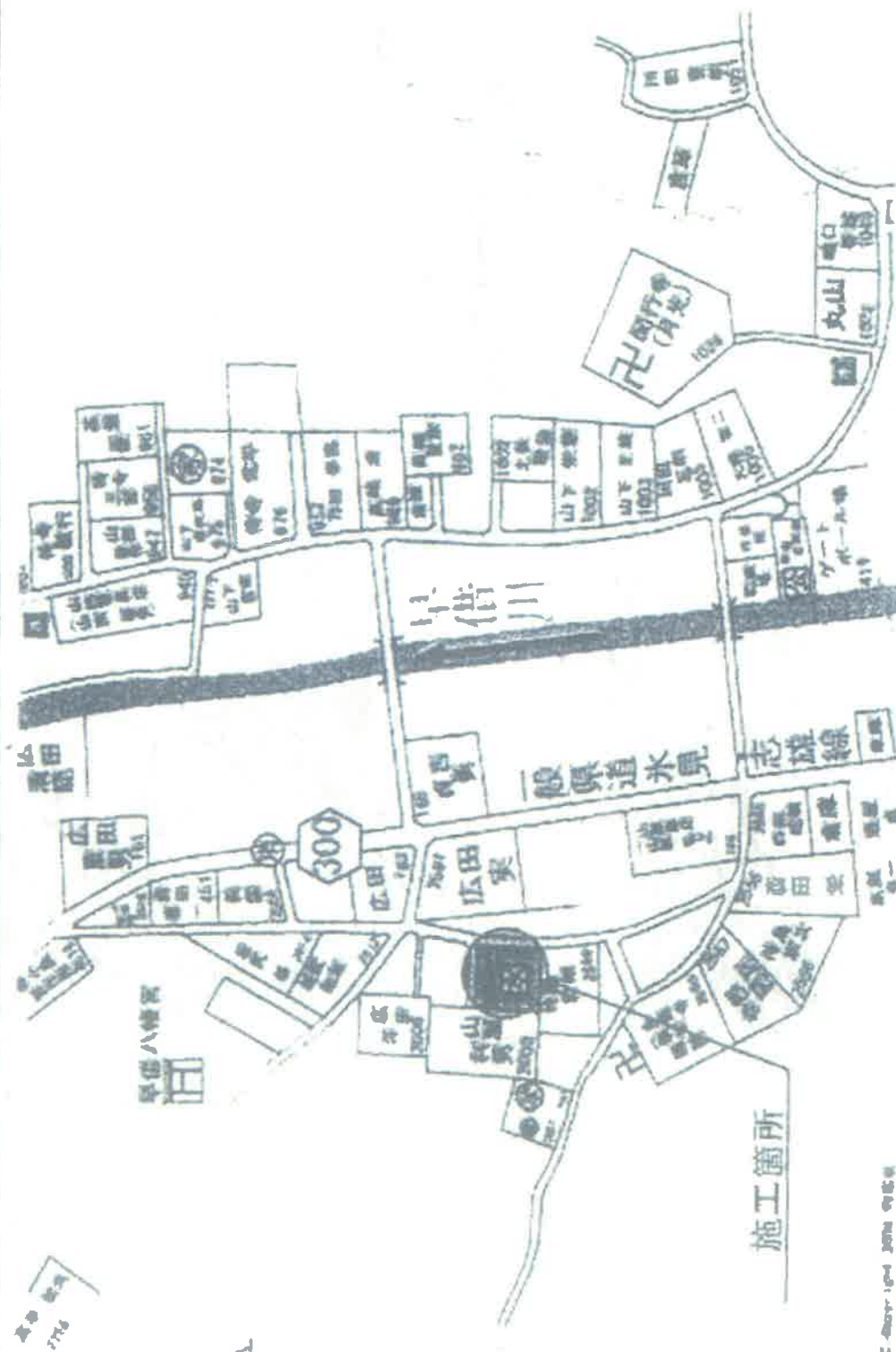




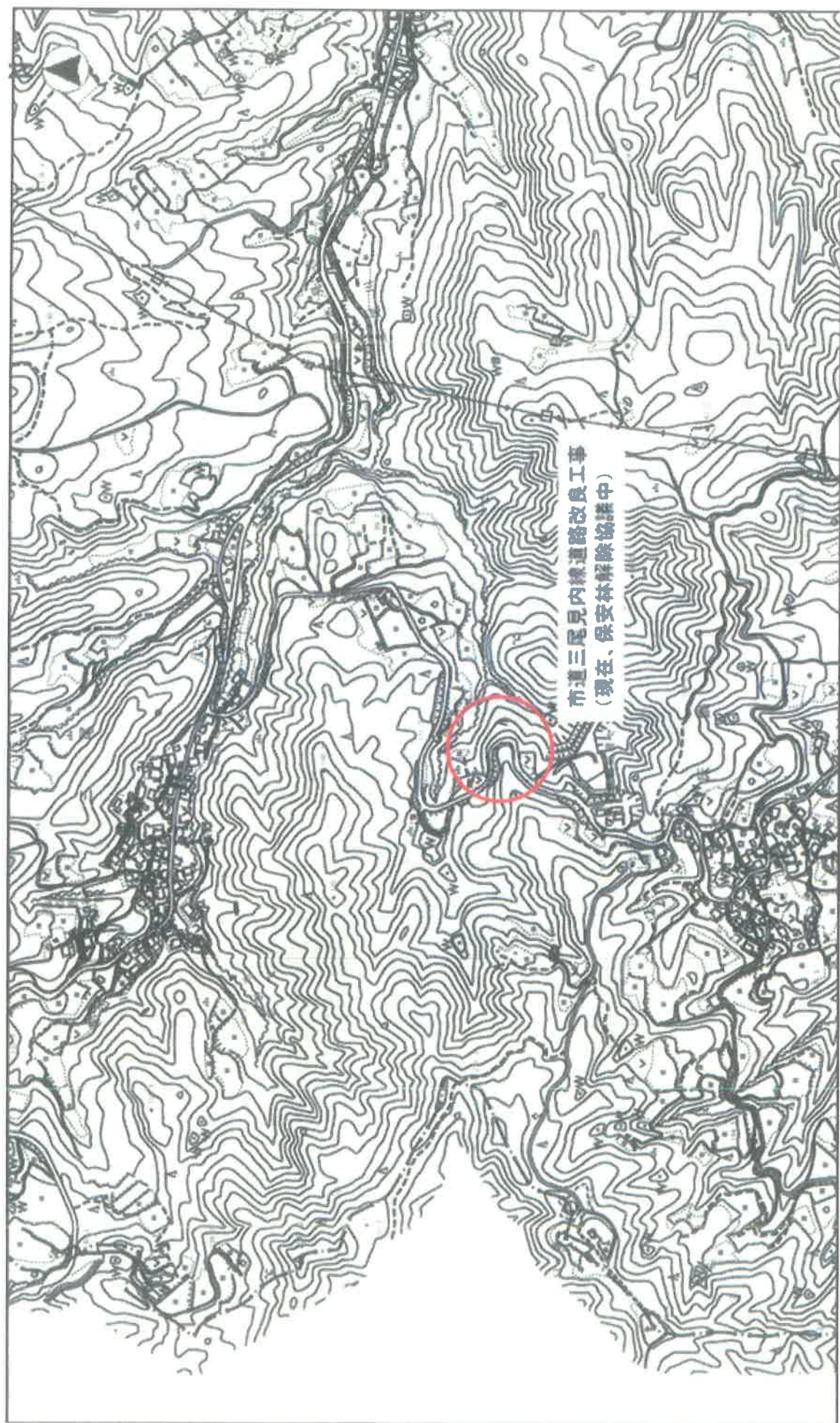
小久米

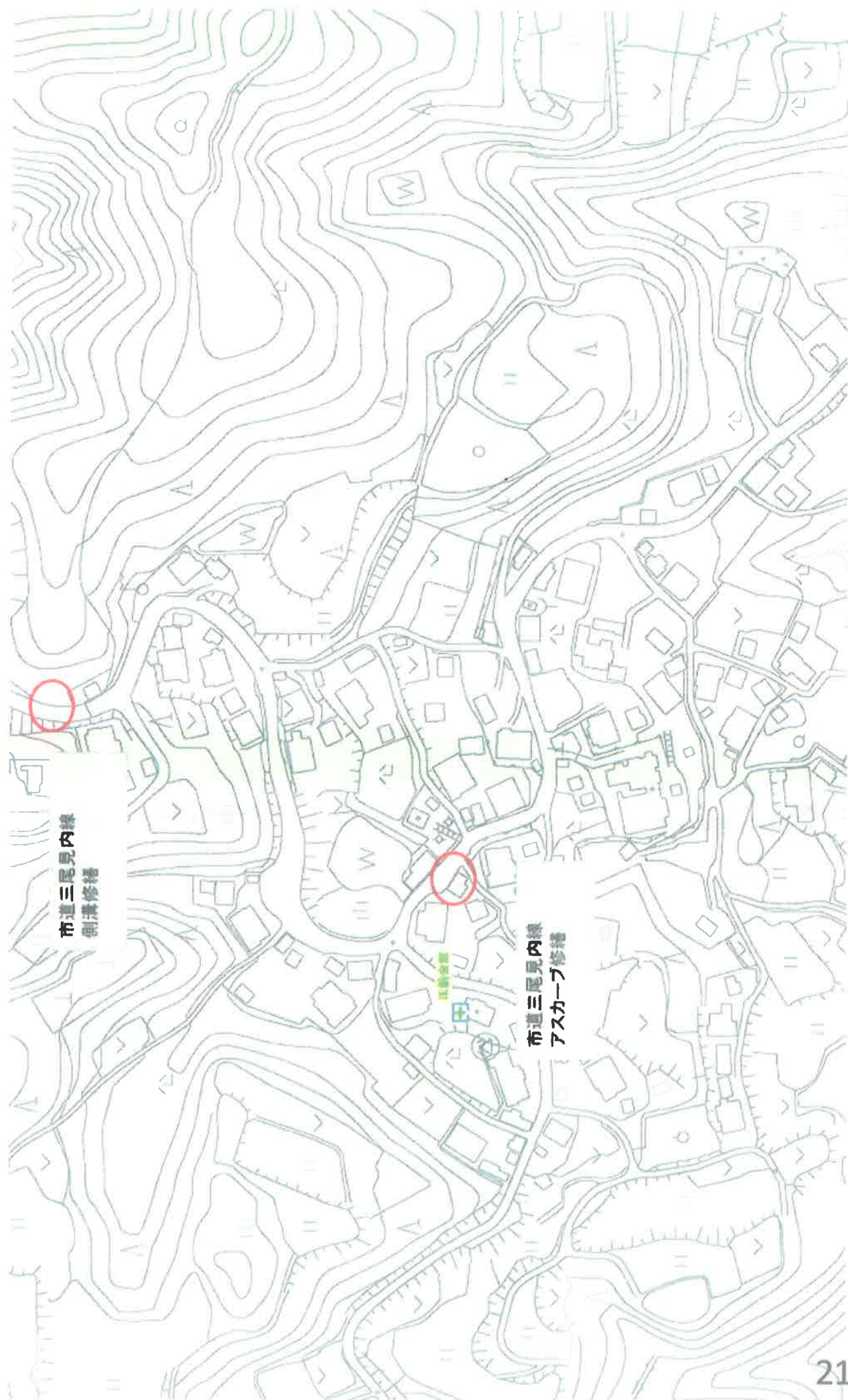


位置図



防火水槽更新(早借地内)





実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	地域力アップ事業補助金	速川地域づくり協議会	400,000	企画政策課	
H29	定住者受入モデル地域支援事業	定住者受入モデル地域である速川地区の定住促進計画の実行と交流施設の整備に係る費用を補助するもの ・ソフト事業補助金 355千円 ・施設整備事業補助金 16,666千円 ・備品整備事業補助金 4,500千円	21,521,000	商工・定住課	
H29	氷見キトキトウオーキング「せっかくウオークIN臼ヶ峰往来」	キトキトウオーキング前日の10月20日に開催される臼ヶ峰往来をコースとしたウオーキングイベント	100,000	スポーツ振興室	
H29	道路整備地域支援事業	日名田地区(臼ヶ峰街道、道路舗装)	289,552	建設課	
H29	生活路線バス維持対策事業費	公共交通に関するアンケート調査委託	50,000	都市計画課	
H29	安心生活創造事業	・通院外出支援の実施 ・相談機能の設置検討	300,000	福祉介護課	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	健康ウォーキング	地区住民を対象としたウォーキング教室を実施(7月、臼ヶ峰ウオーク)	5,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	
H29	三世代ヘルシークッキング	小学生とその家族を対象に三世代ヘルシークッキングを開催し、バランスのよい食事の大切さや食習慣について学んでもらう。(8月)	7,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	
H29	健診PR活動(旗立て)	地区内に健診PRの旗をたて、住民健診の受診勧奨を行なう。(7~9月)	2,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	
H29	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。	5,000	健康課	
H29	健康づくり料理教室	食生活改善推進員から住民へ生活習慣病予防の食事についての講習会を開催する。(11~12月)	4,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	
H29	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(11~12月)	3,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成等)へ 支援 田江(1,356,446円) 早借(2,706,212円) 日詰(995,973円) 小久米(494,612円) 日名田(935,007円) 床鍋(233,940円)	6,722,190	農林畜産課	
H29	中山間地域等直接支払	農業施設の整備(農道、水路等の補修) 等への支援 三尾(348,448円) 早借(3,256,368円) 小久米(245,477円) 日名田(611,866円) 床鍋(615,685円)	5,077,844	農林畜産課	
H29	地域コミュニティ活性化事業	地区の産業・特産品について学び実際 に体験する。	22,200	速川公民館	
H29	地域コミュニティ活性化事業	床鍋伝承行事虫送り「大松明火祭り」と 歴史の道100選・新日本歩く道紀行10 0選「白が峰往来」ウォーク	31,700	速川公民館	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	地域コミュニティ活性化事業	速川地区文化祭において三世代交流餅 つき大会と茶道を体験	22,200	速川公民館	
H29	地域コミュニティ活性化事業	料理教室(男の料理:魚のさばき方と手 づくり豆腐、そば打ち体験)	19,000	速川公民館	

現地調査

- ① 県道氷見志雄線早借～粟原間の急カーブ
- ② 早借の舟山公園
- ③ 小久米（仮称）速川定住交流施設
- ④ 小久米～日名田間県道氷見志雄線の
道路拡張要望箇所
- ⑤ 臼が峰、歴史の道等の道路状況確認

速川地区事前質問 （早借地区）

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
1 市道新保早借線、早借13号線等の拡幅及びカーブミラーの増設について 新保のリサイクルプラザから上庄川沿いに県道氷見志雄線に繋ぐ市道新保早借線、早借13号線等は地区住民はもとより、近隣住民も通勤、病院、買い物等、市街地へ行く際に利用しております。本線は道幅が狭く、時々大型車も通ります。大型車とすれ違う際には徐行運転している状況です。ついては、道幅の拡幅できる所から順次拡幅をお願いします。併せて新保境のカーブには、カーブミラーが1基しかなく対向車が来るのか確認しづらいことから、カーブミラーの増設を要望します。	カーブミラーの設置については、市内各地より多数の要望が提出されており、その中から緊急度、重要度の高いものから設置を行っています。 拡幅改良につきましても、各地区より数多くのご要望を受けております。緊急車両や生活バス路線の通行に支障をきたす箇所、狭隘で見通しの悪い路線などを最優先に整備を進めています。 必要とされる箇所におけるカーブミラーの設置による見通しの確保と同時に、交通実情を把握し、改良の必要性について、検討していきます。	建設課 道の管理担当： 河端 30-7070 市道整備担当： 宮下 74-8074

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
2 豪雨災害の復旧支援について 本年6月30日から7月1日にかけて24時間雨量が200ミリを超える豪雨に見舞われ、当地区では農道の路肩陥没や水田法面の崩壊、休耕田法面崩壊で大豆圃場に土砂流入、農作業場(納屋)横の法面崩壊等が発生した。市に災害発生連絡をしたところ、速やかに現地調査をして頂き感謝申し上げます。現地調査の際、農道の路肩陥没と水田法面の崩壊箇所については、災害対象となる旨説明を頂きました。残念ながらその他の被災箇所は対象とならないとのこと。このため、復旧には自治会や個人負担が重く掛かってくることになります。ついでには災害対象とならない箇所であっても市独自の補助制度及び見舞金支給など復旧経費の幾らかでも支援いただければ非常に助かりますが如何でしょうか。土砂が排水路を塞ぎ、雨が降ると排水路からオーバーフローして民家の庭に流れ出るため、その都度ポンプで水を汲み上げている状況です。	災害の基準となる雨量が発生した場合でも、被災状況や被災箇所の復旧金額で災害対象外となるケースがあります。 農道や水路(農業用施設)で緊急を要するケースは修繕の検討をいたしますのでご相談ください。 まずは、現地の状況確認が必要となりますので、被災箇所を発見されたらご連絡ください。 現地写真②は、農業用であれば緊急修繕の検討いたします。農業用でなければその他の支援事業も考えられますのでご相談ください。	建設課 農林業基盤整備 担当:南 30-7011 治水・治山担当: 梶澤 30-7071

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
3 公園維持管理経費の支援について 舟山公園は早借地区はもとより、近隣住民の憩いの場として市の支援をいただき公園整備を順次実施しておりますが、上下水道施設(トイレ、飲水、洗い場)が未整備です。今後、当地区でも人口減少、戸数減少が見込まれる中、1集落で上下水道施設の設置、設置後の維持管理経費を自治会で負担してやっていけるのか、着手に二の足を踏んでいる次第です。ついでには、1地区における施設の維持管理経費(上下水道料金等)について、市から最大限の支援を請じていただきますよう要望します。	舟山公園については、平成25~27年度の3カ年で連川地区全体の住民の憩いの場や世代・地域間の交流の拠点としてクリエイト・マイ・タウン事業(現:おらっちゃん創生支援事業)を活用し整備されました。地域の方々の思いが込められたすばらしい公園であり、その眺望は、新しい地域の魅力となっています。 地域で作られた公園の維持管理の経費については、すべて地域で賄われており、市の支援制度はありませんが、今年度策定しております第8次総合計画後期実施計画の中で、持続可能な地域をつくっていくために、地域づくり協議会を対象として、地域の数量で交付金を使える一括交付金制度を検討しております。	企画政策課 地域協働推進 班:舩田 74-8013

(日名田地区)

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
1 氷見市民会館に代わる文化施設の今後の計画について 昨年度(平成28年)のふれあいトークでは、来年の1月には基本計画を取りまとめ、市民の皆様にご公表させていただきたいとの回答でしたが、その後の進捗状況を知りたい。 また、市民会館をはじめ、旧朝日丘小学校跡地、旧市役所跡地等についても今後の計画や活用法が気にかかります。市としての方針があれば聞かせていただきたい。 そのほか市体陸上や小学校連合運動会等も高岡市の城光寺城上競技場で何年も行われている。今後、市営の陸上競技場の建設の予定はないのか。市民体育大会が地元開催で行われるようになると良いと思う。	新文化施設につきましては、本年1月に前市長のもと、市民病院跡地での基本計画案が示されました。しかし、市全体のグランドデザインが示されておらず、市街地全体にとって最適な計画が懸念されたことから、今年度は、4つの公共空地及び漁業文化交流センターの利活用方針も含めた、総合的な視点から氷見駅から番屋街までの市街地グランドデザインの検討を行っております。 去る7月13日の第1回検討委員会では、課題の整理や公共空地の現状分析等に加え、昨年度までの新文化施設の検討経緯を報告しました。 今月20日の第2回検討委員会では、「まちづくり方針と市街地のゾーニング」、「各公共空地が担う都市機能」について、12月の第3回で「各公共空地の活用プラン」及び「まちなか主要動線」について、2月の第4回で「市街地グランドデザインのとりまとめ」を行う予定としています。 新文化施設の整備は喫緊の課題であり、第2回目の検討委員会で立地について一定の方向性を出し、庁内での分科会等において施設規模等について議論を深め、他の施設に優先して、建設に向けて計画を具体化していきます。氷見運動公園等のスポーツ環境については、氷見市野人口推計を勘案し、スポーツ施設の再編や再配置などの検討を行い、平成29年3月に「氷見市スポーツ推進計画」が策定されました。また今年度、氷見運動公園再整備計画を策定する予定にしております。その中で野球場、陸上協議場、テニスコート、パークゴルフ場などのスポーツ施設の検討を行い、方向性を示していきたいと考えています。	芸術文化振興室：平田 74-8215 スポーツ振興室：角井 74-8446

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
2 速川小学校、久目小学校、明和小学校の統合について 速川小学校の児童の減少に伴い、久目小学校、明和小学校との統合を考えていかなければならない時期が来ていると思われる。市としてはどのような統合を考えているのか知りたい。また、西部中学校の将来像も同時に検討する必要もあると思われる。速川地区ではこれまで、小中一貫校を西部中学校校区で設立してほしいという意見を市当局に要望してきていますが、今後の予定を教えてください。	「氷見市小中学校将来計画」は、「氷見市小中学校統合審議会」からの答申を受け、平成21年に教育委員会が策定したもので、平成30年度までを計画期間としております。 この計画では、小学校においては複式学級を解消すること、中学校においては全ての教科の教員を配置することや、部活動・生徒会活動などの集団活動を活性化することにより、教育効果の向上を図ることを目的としています。 久目、速川及び明和小学校については、「複式学級とならないように統合を図る」、「統合について、各校区と協議する場を設ける」、「統合時期は、児童数の推移を見極めて定める」と記載されています。 しかしながら、統合校の場所や統合の時期等が定められていなかったことから、教育委員会では、その折々の児童数の状況等をお伝えしながら、平成21年度からこれまで、校区ごとに自治振興委員やPTAの方々と統合に関する協議を重ねてきました。 1月に3地区から要望書が提出されましたが、現在の将来計画にはない要望があるため、新たに統合審議会に諮問し、その答申を受けたいと考えています。 そのため、6月に第1回の審議会を開催、9月15日には第2回の審議会を開催しており、今年度中には今後の方針を決めたいと考えています。	教育総務課 総務企画担当：東軒 74-8211

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
3 市道の補修工事について 市道のアスファルト路肩が崩れ、側溝に土砂が崩れる状況の箇所がある。昨年も要望し現地確認をしたが、その後の工事の着工の動きが見られない。なるべく早く補修をしてもらいたい。	現在、補修を行うための手続中です。10月中旬ころまでには補修完了予定となっています。	建設課 道の管理担当: 河端 30-7070
4 日名田公民館横の車庫の屋根の葺き替えについて 昨年も現地確認した、車庫の屋根の錆がひどく、やがて雨漏りがはじまるような状況である。昨年の現地確認では、担当者は錆取りをしてペンキを塗るより葺き替えしたほうがよいだろうという見解であった。早急にお願したい。	建物は市所有ですが、使用実態は地元にありますので、おらっちゃ創生支援事業(1/5補助)を活用しての屋根の葺き替えのご検討をお願いします。 また、この建物は除雪拠点施設として整備されたものでありますが、当初の目的の役目を終えていることなどから、今後の施設のあり方について検討していきます。	建設課 道の管理担当: 河端 30-7070

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
5 能越道氷見南インターまでの道路の整備について 高岡方面に勤務する遠川地区民にとって、能越道を利用するには、氷見インターを利用するより氷見南インターの方が時間的に早く利用しやすいと思われる。しかし、早借～粟原間が急カーブで坂道の勾配がきつく、冬場は特に危険な状況にある。遠川地区から氷見南インターまでの道路の整備をお願いします。 また、昨年の防災訓練で避難経路が銚根地区の道路を通過して、高岡の竹平体育館へ避難をした。その時、災害時に通る道路としては危険であると感じた。避難道路としてもぜひ整備をお願いしたい。	県道氷見志雄線の早借～粟原間や主要地方道高岡氷見線の銚根地内において、急カーブや勾配がきつい箇所があり、特に冬場などに危険を感じる利用者が多いことは、市といたしましても認識しています。 利用者の安全確保はもとより、能越道氷見南インターの利活用の観点からも、アクセス道路の整備は重要な課題でありますので、道路管理者である県に市としましても働きかけてまいりたいと考えています。	建設課 能越道等事業調 整・用地担当:高 田 74-8091

(小久米地区)

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
1 小学校の統合について 小学校の統合について、対象学童を持っている親としては、大きな問題である。将来どこへ通学するのか不明なままでは、他の地域や他市への転居も考えなければならない。	氷見市小中学校将来計画は、「氷見市小中学校統合審議会」からの答申を受け、平成21年に教育委員会が策定したもので、平成30年度までを計画期間としております。 この計画では、小学校においては複式学級を解消することを、中学校においては全ての教科の教員を配置することや、部活動・生徒会活動などの集団活動を活性化することにより、教育効果の向上を図ることを目的としています。 久目、遠川及び明和小学校については、「複式学級とならないように統合を図る」、「統合について、各校区と協議する場を設ける」、「統合時期は、児童数の推移を見極めて定める」と記載されています。 しかしながら、統合校の場所や統合の時期等が定められていなかったことから、教育委員会では、その折々の児童数の状況等をお伝えしながら、平成21年度からこれまで、校区ごとに自治振興委員やPTAの方々と統合に関する協議を重ねてきました。 1月に3地区から要望書が提出されましたが、現在の将来計画にはない要望があるため、新たに統合審議会に諮問し、その答申を受けたいと考えています。 そのため、6月に第1回の審議会を開催、9月15日には第2回の審議会を開催しており、今年度中には今後の方針を決めたいと考えています。	教育総務課 総務企画担当： 東 軒 74-8211

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
2 加越能バスの三尾線・論田線の廃止問題の今後の取組について 実際に、来年の4月からの廃止は決定しているのか。またその後はどのようなようになるのか。遠川地区の交通手段はどうなるのか。	加越能バスの10月土日休止、4月廃止について、市側から要望した結果、10月土日休止はなくなりましたが、4月からの土日平日廃止の解除は難しいと言われています。 市では現在、皆様方にご協力いただきましたアンケート調査の集計・分析をしており、それを参考にしながら、地域の必要性に応じた交通手段を地域の方と話し合い共同で考えていく予定としています。	都市計画課 公共交通担当：粟 屋 30-2949
3 小学校の統合やバスの廃止に伴い、過疎化や人口減がさらに進むことが予想される。そのような状況について、市としてはどのような考えを持っておられるか。人口減少は遠川地区に限らず、氷見市全体の課題であると思う。	「人口減少対策」については、平成27年10月に策定した「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種事業を推進するとともに、今年6月に発表した「住みたい街」、「働きたい街」、「育みたい街」の3つを基本理念とした『氷見元気プロジェクト』を実施に移し、人口減少の抑制に努めています。 また、現在第8次総合計画後期基本計画の策定を進めており、その中に旧小学校区の21地区すべてが地域の人々の暮らしを守っていくことができるように、地域づくり協議会の設立を支援し、その活動に必要な拠点づくりや人材育成、また公共交通施策などを盛り込み、「人口が減少しても幸せに暮らせるまちづくり」に取り組んでいきます。	企画政策課 政策推進担当：蔵 田 74-8011

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
4 能越道利用にあたり、速川地区民として不便を感じる。栗原地区へのアクセス、または米見南インターまでの道路改良を希望します。 速川地区から高岡方面への通勤者としては、早借～栗原間の冬場の通行が危険であるため道路整備をお願いしたい。	県道米見志雄線の早借～栗原間において、急カーブや勾配がきつい箇所があり、特に冬場などに危険を感じる利用者が多いことは、市といたしましても認識しています。 利用者の安全確保はもとより、能越道米見南インターの利活用の観点からも、アクセス道路の整備は重要な課題でありますので、道路管理者である県に市としましても働きかけてまいりたいと考えています。	建設課 能越道等事業調整・用地担当：高田 7-8091
5 今年の大雨で、米見市は土砂災害等被害が大きかったですが、今後災害に強いまちづくりの為にどのように取り組まれるのか。	これまで実施してきた災害を未然に防止する対策を推進するとともに、河川氾濫や土砂災害が発生した場合においても、被害を軽減するためのハード対策や自主防災組織づくりなどのソフト面での取り組みを積極的に進めていきます。	地域防災室：小野 74-8021 建設課 治水・治山担当：梶澤 30-7071
6 米見市（特に速川地区のような、市街地から離れた地区）では、若者の都市部への流出が加速しておりますが、何か対策を考えているのでしょうか。	一昨年10月に策定した「米見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種事業を推進するとともに今年8月に発表した「住みたい街」、「働きたい街」、「育てたい街」の3つを基本理念とした『米見元気プロジェクト』を実施に移し、雇用の拡大や1歳以上の第2子の保育料の無料化など、若者の「住みたい街」に向けた取り組みを進めています。 また、現在第8次総合計画後期基本計画の策定を進めており、その中に旧小学校区の21地区すべてが地域の人々の暮らしを守っていくことができるように、地域づくり協議会の設立を支援し、その活動に必要な拠点づくりや人材育成、また公共交通施策などを盛り込み、「人口が減少しても幸せに暮らせるまちづくり」に取り組んでいきます。	企画政策課 政策推進担当：蔵田 74-8011

（速川地区）

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
1 今後の市道の管理について 現在、各地区では、市道や県道の草刈りは地元の住民が道路愛護デーの機会等で行ってきた。自分の地区では人足を出して管理してきた。今後ますます高齢化、過疎化が進む地区では、草刈りもできない状況である。市として道路の管理を今後どのように考えられているか。	市でも全ての市道の草刈を行うことは不可能であり、今までどおり地元の協力を得ながら管理を行っていきたいと考えています。 今年の9月より地域に貸し出し用の乗用の草刈機を新たに追加し、2台としていますので、有効に活用していただき少しでも労力の軽減を図れればと考えています。今後ご理解とご協力をお願いします。	建設課 道の管理担当：河端 30-7070
2 全国的にも、米見市においても突然の豪雨に伴う土砂災害や水害などが多く発生する状況が見られる。市として今後の防災対策を教えてください	これまで実施してきた災害を未然に防止する対策を推進するとともに、河川氾濫や土砂災害が発生した場合においても、被害を軽減するためのハード対策や自主防災組織づくりなどのソフト面での取り組みを積極的に進めていきます。	地域防災室：小野 74-8021 建設課 治水・治山担当：梶澤 30-7071

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
3 路線バス廃止後の住民の移動手段はどうなるのか、また、その運用はどのようにになるのか。	現在、市ではアンケート調査の集計・分析をしており、それを参考にしながら、地域の必要性に応じた交通手段を地域の方と話し合い、共同で考えていく予定としています。運用は、他の地区のNPOバスの運用に準じるものを想定しており、市と地域の役割分担が重要になると考えています。	都市計画課 公共交通担当： 栗屋 30-2949
4 害獣(イノシシ・シカ等)の取り扱いについて	野生動物から農作物を守る対策として ①集落環境管理 ・柿などの放任果樹、収穫残渣、生ごみなどエサとなるものの除去 ・水田の秋起こしによる二番穂の除去 ・竹林の整備や藪の草刈りにより身を隠せる場所の除去 ②被害防除 ・農地周辺に電気柵、ワイヤーメッシュ策などを侵入防止柵の設置 ③加害固体の捕獲 があります。 特に、①集落環境管理や②被害防除の対策が重要であり、これらを地域ぐるみで取り組まれるのがより効果的です。	農林畜産課 農業・畜産・いのしし等担当：高野 74-8086

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
5 小・中学校の統合の将来像について	氷見市小中学校将来計画」は、「氷見市小中学校統合審議会」からの答申を受け、平成21年に教育委員会が策定したもので、平成30年度までを計画期間としております。 この計画では、小学校においては複式学級を解消することや、中学校においては全ての教科の教員を配置することや、部活動・生徒会活動などの集団活動を活性化することにより、教育効果の向上を図ることを目的としています。 久目、遠川及び明和小学校については、「複式学級とならないように統合を図る」、「統合について、各校区と協議する場を設ける」、「統合時期は、児童数の推移を見極めて定める」と記載されています。 しかしながら、統合校の場所や統合の時期等が定められていなかったことから、教育委員会では、その折々の児童数の状況等をお伝えしながら、平成21年度からこれまで、校区ごとに自治振興委員やPTAの方々と統合に関する協議を重ねてきました。 1月に3地区から要望書が提出されましたが、現在の将来計画にはない要望があるため、新たに統合審議会に諮問し、その答申を受けたいと考えています。 そのため、6月に第1回の審議会を開催、9月15日には第2回の審議会を開催しており、今年度中には今後の方針を決めたいと考えています。	教育総務課 総務企画担当： 東軒 74-8211

(速川地区社会福祉協議会)

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
1 (仮称)速川定住交流施設の整備について 事業費、補助金と地元負担金、交付決定、業者決定、 請負額決定、工事着手許可等進め方について。	申請がなされましたら、速やかに事業に着手できる よう市として事務処理に努めます。 協議会におかれましては、市の交付決定をもって事 業に着手され、当該施設が計画どおりに完成される よう進捗管理をお願いいたします。 なお、県の補助制度を活用することから、事前に県と も協議しており、補助内容等については既に了承を いただいています。	商工・定住課 定住促進担当: 赤倉 74-8075
2 地域おこし協力隊について 協力隊員に活躍の場の確保や協力隊員の起業支援を。 また、今後の派遣予定の協力隊員について。	地域おこし協力隊については、現在は市内に12名の 隊員がおり、各々のミッションに基づいて市内での活 動を通して活躍いただいています。 起業支援につきましては、「氷見市地域おこし協力隊 起業支援事業補助金」制度を創設し、3年目又は任 期終了後1年以内の隊員に対して、設備・備品の購 入費や法人登記費用等の起業に要する経費に対し て補助を行うほか、起業に関する研修等も実施して いるところです。 新たな協力隊員については、これまでの検証等を行 って、平成30年度からの3期生の募集について、 検討しているところです。募集を行うということにな れば、あらかじめ受入地域・団体等の募集を行うこと になりますので、その際はぜひご応募いただきたいと 考えています。	企画政策課 地域協働推進 室・外田 74-8013

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
3 ふるさと納税について 制度がどう変わったのか。	制度に変更はありません。ただし、今年度、総務省 が自治体に対して、金銭類似性の高い返礼品の自 粛と、寄附金額に対する返礼品の調達価格を30%以 内にするようにという趣旨の助言を行いました。本市 におきましても、この助言により、返礼品について 30%以内に納めるなど見直しを行いました。	商工・定住課 商工振興担当: 角 74-8105
4 加越能の路線バスの廃線について 高齢者の生活支援(買物、病院通院等)のため廃線後 の足の早期確保 デマンドバス、NPOバス、コミュニティバスなど、5年、10 年後も継続可能な仕組み等	市では、現在アンケート調査の集計・分析をしており、 地域の必要性に応じた交通手段を地域の方と話し 合い、共同で考えていく予定としておりますが、この 件につきましては、誰がいつ使うのかという事を想定 しながら、公共交通で対応すればいいのか、福祉的 な交通方法で対応すればいいのか、必要に応じて、 地域の方と役割分担を検討していきたいと考えてい ます。	都市計画課 公共交通担当: 栗屋 30-2949

平成29年要望書(床鍋区長)

要望項目	対応内容	担当課及び 担当者名
(継続)市道三尾見内線改良 工事早期完成のお願い	ご要望の箇所は現在工事中であり、早期完成に努めてまいりますので、引き続きご協力願います。	建設課 市道整備担当:宮下 74-8074
市道三尾線アスファルト沈下 補修のお願い	昨年度の補修から沈下が少ないことから、今後は経過を観察しながら舗装補修を行っていきます。	建設課 道の管理担当:河端 30-7070
(継続)市道老谷線の落石及び 危険箇所への整備	今年度は斜面上部の立木を撤去し、今後の対策については現場の状況を詳しく調べて対応していきます。	建設課 道の管理担当:河端 30-7070
市道老谷線片側アスファルト 補修のお願い	今年度はクラックについて補修を行います。また、経過を観察しながら舗装補修を行っていきます。	建設課 道の管理担当:河端 30-7070

要望項目	対応内容	担当課及び 担当者名
アスカーブ補修のお願い	現地を確認させていただきました。平成29年度において、補修を行いたいと考えています。	建設課 道の管理担当:河端 30-7070
砂利、生コンの支給をお願いします。	申請書をいただいています。実施時期を調整して日程が決定されましたらご連絡ください。	建設課 道の管理担当:河端 30-7070
不燃物処理センターについて ①不燃物処理センターの現在の状況と今後の予定 ②広域圏からの焼却灰の入り具合 ③排水側溝の破損箇所の修理工事お願い ④来年の話合いをよろしくお願ひいたします。 ⑤高齢化が進み道路管理(草刈り作業)がだんだん遅れてくるようになりました。シルバーセンターからでも応援して頂けないでしょうか。	①施設の老朽化が進行していることから、施設の長寿命化や民間委託の導入を検討し、破碎選別による資源回収と適切な埋立処理を維持確保していきます。 ②新ごみ焼却施設の稼働開始やごみ量の減少により、焼却灰の搬入量は減少傾向となっています。 ③年度内に修繕する予定にしています。 ④今後も地元の皆様にご理解を頂けますよう、施設の整備方針を含めてご説明させていただきます。 ⑤建設課へ対応を依頼していますが、草刈りについては全市的な課題であり検討していきます。	環境・交通防犯課 リサイクル推進担当: 大浅 74-8082

要望項目	対応内容	担当課及び 担当者名
臼ヶ峰展望台周りの手摺りの 修理のお願い	県の補助を活用し、臼ヶ峰展望台を囲む手すりにつ いて修繕は完了しました。崖に面し、著しく劣損して いる箇所については手すりを新しいものに取り換え ました。	観光交流・女性応 援課 観光地域づくり担当 74-8106
臼ヶ峰展望台からの景観悪く なっているので、立ち木の伐 採をお願いします。	立木については個人の所有物となるため、地元での 対応をお願いいたします。	観光交流・女性応 援課 観光地域づくり担当 74-8106
臼ヶ峰の広場にチップを敷い てほしい。	木製チップは時間の経過とともに腐食が進みやすい 素材であり、雨天時のぬかるみの原因や材質の劣 化による一定期間での入れ替えが必要となるなど、 当該場所への使用は適切ではないと考えています。	観光交流・女性応 援課 観光地域づくり担当 74-8106